


 いわき市立総合磐城共立病院

地域医療連携室だより

～ 新たな市立病院改革に向けて ～

いわき市病院事業管理者 鈴木孝雄



平成19年度よりいわき市においては、市立病院事業については地方公営企業法の全部を適用することとし、「病院事業管理者」を設置したところであります。

病院事業管理者制度は、これまで市長の権限であった、市立病院に関する権限を「病院事業管理者」にゆだねることにより、市立病院事業を機動的かつ効率的に運営することを、目指したものであります。

ご承知のとおり、市立病院は毎年多額の欠損金を出しております。公立病院特有の不採算部門を抱えていることなども、その大きな理由ではありますが、昨今の厳しい地方財政は、病院の赤字体制を、そのような理由だけでは説明できない環境になってきました。いろいろな問題を抱えながらも、病院自体が大きく変わらなければ、生き残ることができない状況になってきたわけです。

一般に、病院事業における地方公営企業法の全部適用は、次のようなメリットがあると言われております。①病院事業管理者に権限が集中することにより、病院事業における責任と権限が明確になり、職員の意識高揚が図れること。②病院事業管理者が独立した権限を持つことにより、機動的かつ柔軟な病院運営を行うことができること。③病院内における意思決定、事務処理などが迅速に行なわれること、などです。

しかしながら、管理者制度に移行すれば、黙っていても市立病院改革は進むものではありません。これまで、市立病院の職員は「コスト意識が無い」とも言われてきました。そのような中で、今後はこれらの制度を上手に活用しながら、病院運営を行うことが必要だと思っております。それには病院に勤務する職員一人ひとりが、市立病院の存在を再認識し、そして、病院事業に対しての経営意識を持つことが、市立病院を維持し発展させる根源であると思っております。

市立病院改革は始まったばかりです。そして様々な議論を通しながら、まず出来ることから始め、真に市民に信頼される市立病院を目指したいと思っております。皆様のご協力をお願いいたします。


【いわき市立総合磐城共立病院 地域医療連携室】

電話 0246(26)2250(直通) FAX 0246(26)2119

 URL <http://www.iwaki-kyoritsu.iwaki.fukushima.jp>

 E-mail kyoritsu@iwaki-kyoritsu.iwaki.fukushima.jp

診療科
紹介

循 環 器 科

循環器科

杉 正文

共立病院循環器科は消化器科と同様平成14年8月よりそれまで大所帯であった内科から分離独立いたしました。当科はあまり知られていないと思いますが現在の副院長の市原利勝先生が心臓カテーテル検査を本格的に昭和49年に導入して以来約30年の歴史があり、東北地方では先駆的な伝統ある診療科です。昨年は人事異動も多くありましたが、現在は市原、油井、杉、山本、朴沢、戸田、湊谷そして後期研修医として高木、柏原の総勢9名という内科の中でも大所帯になっています。

循環器科は他の内科と同様に薬物療法が主体ではありますが、内科の中でも外科に近いインターベンション治療が多く、最近の進歩は著しいものがあります。循環器科と言えば従来は心筋梗塞・狭心症といった虚血性心疾患や弁膜症が主とお考えの方も多いと思います。冠動脈インターベンションは年間約400例と引き続き盛んですが、ここ数年不整脈治療・心不全治療での進歩はめざましく、薬物治療のみではなく致死性不整脈に対してデバイスを用いた植え込み型除細動器（ICD）、高周波カテーテル心筋焼灼術と言った薬物治療以外の不整脈治療、更には両室ペーシングによる心再同期療法（CRT）といった非薬物心不全治療も行われるようになってきました。当院ではこれまで約120例の高周波カテーテル心筋焼灼術が行われ良好な成績が得られています。またICDは約20例をCRTも約5例が植え込まれており突然死予防や著明な心不全の改善が認められています。

他方、虚血性心疾患に対しても免疫抑制剤を用いた再狭窄抑制型薬剤溶出性ステント（DES）が用いられるようになり従来のステントの再狭窄率は20-30%でしたが、最近では再狭窄も5-10%程度に激減しています。しかしながら患者さんのQOLは改善するものの予後は改善していません（モグラ叩き）。これからの循環器科の課題としては2次予防を主とした高血圧・糖尿病・脂質代謝異常・禁煙を含むメタボリックシンドローム等の全身管理が必須の時代になっています。急性期治療を行う病院ばかりではなくかかりつけ医での慢性期の厳重なコントロールが要求される時代となって来ました。

また、末梢動脈疾患をもつ患者さんは明らかに予後が不良な事がわかってきています。今年度より従来以上に積極的に腎動脈や下肢末梢血管に対してもインターベンションも本格的に取り組んでいきたいと存じます。お困りの患者さんがいらっしゃいましたら是非ご紹介くださいますようお願い申し上げます。

循環器科は基本的にチーム医療と考え、外来は専門外来のみに特化していく方針です。出来るだけ患者さんのかかりつけ医と連携し24時間体制で病診連携を中心に考えていきたいと思えます。通常の外来患者数は出来るだけ制限し、紹介患者さんに対して待ち時間等が出来るだけ少ないよう対応していきたいと考えています。

当循環器科からのお願いですが従来と異なり、平成19年7月より循環器科新患外来を新設しました。緊急患者さんを除き待ち時間減少のためにも是非、病診連携にての事前の予約をお願い申し上げます。現在のところ病診連携を通過していない紹介状が日に依っては5件程度あり予約なしのためせつかくの紹介患者さんに待ち時間でご迷惑をおかけしています。緊急の際にも十分な対応が出来ますように電話等での事前のご連絡をお願いします。

また、多くの治療後患者さんでの追跡登録（DES, ICD, CRT）が厚労省より指導されております。ご多忙のところ大変申し訳ありませんが追跡検査等よろしくお願い申し上げます。

これからは病診連携・病病連携による親密な連携が必須と思われれます。まだまだ体制は不十分ですが患者さんのためにもいわき地区でのモデルのひとつとなれるように努力したいと存じます。この患者さんに何をしてあげれば幸せになるのかを常に考えながら診療を続けていきたいと存じます。

よろしくご支援のほどお願い申し上げます。

〈循環器科医局員〉



診療科
紹介

呼吸器外科

呼吸器外科

管野隆三

共立病院呼吸器外科の管野隆三です。この地に赴いて早、3年目となりました。当科スタッフは私と福島県立医科大学第一外科呼吸器外科チームから1名（1年交代、これまで在任した医師は大杉 純君、長谷川剛生君、星野実加君、2006年10月からは米地 敦君）の呼吸器外科修練医、総勢2名で日常の診療、手術にあたっております。主な診療内容は肺腫瘍性疾患の診断と肺切除を含めた治療（抗癌剤、放射線療法）、肺癌の緩和医療、自然気胸や縦隔腫瘍に対する外科治療等です。昨年（2019年）の延べ退院患者数は546件（肺悪性腫瘍427件、気胸、縦隔腫瘍、胸部外傷等78件、その他41件）でした。治療法内訳は手術137件、化学放射線療法252件、緩和療法、検査、その他57件でした。手術症例の内訳は肺悪性腫瘍78件、気胸、縦隔腫瘍、重症筋無力症等37件、肺炎性疾患、良性肺腫瘍等8件、その他14件でした。内50%が胸腔鏡併用で低侵襲の手術に努めております。早期肺癌、高齢者、poor risk症例、自然気胸、良性縦隔腫瘍等に関しては、胸腔鏡下手術の適応としております。手術関連死亡は皆無です。進行肺癌に関しては術前化学療法を行い、できる限り外科切除の適応を探っております。切除不能の局所進行肺癌あるいは遠隔転移を有するIV期肺癌に関しては、全身状態が許されれば、放射線化学療法を行い、生存期間の延長、QOLの改善に努めております。最近、80歳以上の高齢者肺癌を治療する機会が多く、PS良好な患者さんには肺切除を第一選択としております。また肺癌の外來化学療法も積極的に行い、患者さんのライフスタイルを考慮して治療にあたっております。肺癌の治療成績は未だ満足いくものではありません。昨年当科初診の患者さんの約半数は残念ながら手術適応外でした。早期発見に努めたいものです。肺癌を疑う陰影を発見した場合は遠慮なくご紹介頂ければと思います。その他の疾患として、自然気胸の治療にも力を入れており、特に若年者に関しては、気胸の再発で学業、仕事に支障を来しますので初発から胸腔鏡下手術の適応としております。以上診療内容を大まかに紹介しました。当科はまだマンパワー不足で、皆様のニーズに応えられない事も在るかと思いますが、どうかご容赦頂きたいと存じます。手術日（月曜日、木曜日）は外來の緊急対応は困難ですが、それ以外の曜日は直接電話を頂ければできる限り迅速に対応致しますので、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



ようこそ! 新任医師紹介



循環器科 ● 山本 義人 先生

4月より循環器科に赴任しました。
カテーテル治療を専門にしています。
よろしくお願い致します。

整形外科 ● 恩田 啓 先生

4月より勤務させて頂いております。主に脊椎・脊髄疾患を担当させて頂いております。
いわき地区の地域医療に貢献出来るよう頑張りたいと存じます。よろしくお願い致します。



整形外科 ● 中村 厚彦 先生

4月より整形外科で診療しております。
福岡大学出身です。
どうぞよろしくお願い致します。

外科 ● 美田 良保 先生

4月1日付けで外科に赴任しました。神戸からやってきました。
知らないことばかりで御迷惑かけると思いますがよろしくお願い致します。



産婦人科 ● 本多 つよし 先生

ただただ頑張ります!

産婦人科 ● 三瓶 稔 先生

4月より産婦人科で診療しております。
専門は産科(周産期)です。
よろしくお願い致します。





産婦人科 ● 藤井 調 先生

4月1日付で産婦人科に赴任しました。
趣味はサーフィンとDJです。
至らぬところもありますが持ち前の明るさとガッツで
頑張りますのでよろしくお願い致します！

産婦人科 ● 菊田 恭子 先生

4月より産婦人科に赴任しました。日々目が回るような
忙しさですが、スタッフの皆さんと力を合わせて、事
故のない様頑張りたいと思います。
どうぞよろしくお願い致します。



放射線画像診療科 ● 清野 修 先生

4月から放射線画像診療科に赴任しております。
まったくの新参者ですがよろしくお願い致します。
専門は核医学です。どんどん紹介してください！

耳鼻咽喉科 ● 日高 浩史 先生

4月より舘田前科長と交代致しました。
H11~14の間、当院でお世話になり、約5年ぶりのい
わきでの勤務となります。
どうぞよろしくお願い致します。



小児科 ● 田澤 星一 先生

4月より小児科に来ました。3月までは宮城県立こども
病院で主に先天性心疾患の児の診察にあたっていました。
こちらの雰囲気にも少しずつ慣れてきたところです。
よろしくお願い致します。

形成外科 ● 小林 友哉 先生

4月からお世話になっています。
広島で育ち、筑波大を卒業し、縁もゆかりもないいわ
きにやってきました。
どうぞよろしくお願い致します。





麻酔科 ● 前田鉄之先生

4月から赴任しました。患者様が安全に、そして、より快適に周術期を過ごせるよう力になれたらと思います。よろしく申し上げます。

麻酔科 ● 小川 剛先生

4月より麻酔科に赴任しました。どうぞよろしくお願ひ致します。



よろしく申し上げます!!

平成19年度 研修医

- 黒川 壽久先生 (岩手医科大学)
- 鈴木 慎吾先生 (東北大学)
- 根岸 幸裕先生 (東北大学)
- 塙 健一郎先生 (東北大学)
- 渡邊 学先生 (日本大学歯学部)

～敷地内全面禁煙について～

病院は健康を取り戻し、病気を予防する場所でもあるという観点から、平成19年4月1日より、「**病院敷地内禁煙**」を実施することになりました。

このことについて皆様にご理解して頂くために、4月初旬の朝、職員が玄関前に立ち、周知のためのビラ配りを致しました。



院内で行われたイベントについて

1 AED講習会

1月～3月にわたり、西8病棟においてAED講習会が開かれました。医師、看護師、技術職員、事務職員等が参加し、数班に分かれてAEDの使い方などを実技形式で学びました。

現在、共立病院には13台が設置されており、必要時に使用できるような体制が整えられています。

AEDの無料貸し出しについて

4月からAEDの貸し出し事業を始めました。スポーツ大会や運動会などへ無料で貸し出しております。詳細は共立病院管財課までお問い合わせ下さい。

2 新採用者オリエンテーション

4月2日～10日、本年度から共立病院に配属になった看護師や職員を対象に、新採用者オリエンテーションが行われました。

3 「看護の日」健康相談・血圧測定

「看護の日・看護週間（5月8日～12日）」の行事の一環として、期間中にあたる5月8日、9日の2日間、医事課前廊下において、健康相談や血圧測定が行われました。



地域医療連携室業務時間
月～金 8:30～17:15